

# オリジナル設計の働き方改革

## 代表取締役社長 菅伸彦氏に聞く

企業が持続的に発展していくためには、仕事と生活が調和した環境整備が不可欠だ。労働生産人口が減少するなか、人材を定着させ、社員一人ひとりが最大限持っている能力を発揮させるための取り組みが求められている。オリジナル設計（OEC）では、働き方改革やワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進に積極的に取り組む、生産性の向上や労働時間の短縮などの成果が出ている。ここでは、菅伸彦社長にこれまでの働き方改革の取り組みや今後の方針などについて伺った。

「どうしてもその社員しかできない仕事もあります。その業務負担を軽減するため、業務の切り分けを行い、経験の浅い社員でもできる業務は振り分けしたり、他部署



フリーアドレス化したオフィスで働く



打ち合わせスペースを増やすなど環境整備

菅社長が社長に就任してから約5年が経つが、全国にある支社、事務所、営業所を精力的に回り、現場の声を積極的に吸い上げている。

「時間が許すかぎり、全国にある事務所を回り、特に若手社員の声を直接聞いています。終業後は懇親会を開き、仕事の悩みを聞いたり、世間話をしたり、気軽に何でも話してもらえよう心がけています。私は、約350人すべての従業員と直接顔を突き合わせて話をしており、その人となりを把握していますので、何かあれば迅速に対応できると自負しています」と、

菅社長は「生産性の向上に先ず、先進企業の取り組みを学ぶため、昨年2月に日本マイクロソフト本社のガイドツアーにさまざまな年代の社員20人と一緒に参加しました。これをもとに、その後、当社で何ができるのかを検討するためにプロジェクトチームを結成し、検討を重ねてきました。その取り組みの一つがフリーアドレス型のオフィスです。現在、東京の東日本支社と大阪の西日本支社に導入しています。今後は、他の部署にも拡大させていく方針です」と紹介する。

## 生産性の向上を実現

### WLBが根づき、新たな提案も

オリジナル設計では、以前から働き方改革やWLBの実現に取り組んでいたが、その取り組みを本格化、加速させたのは約2年前。生産性の向上やプロジェクト管理の効率化、働きやすい職場環境づくりなどの実現を目的に、社員の意識改革や制度改革、システムづくりを積極的に進めてきた。

「働き方改革に取り組んだ背景について、菅社長は「建設

その効果について菅社長は「保育園に子どもを送った

取得率も確実に上がって

また、外出・出張が多い社

また、社内での好事例や活動

菅社長は「いろいろな部署



「働き方改革に取り組んだ背景について、菅社長は「建設

また、同社では多様な働き

また、メールを見ることで

続けて「フリーアドレスを

菅社長は「いろいろな部署

菅社長は「いろいろな部署